

平成 24 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業

上影森橋立作業道作設事業

秩父広域森林組合



事業の目的・内容

森林所有者が森林の管理が容易にできるために、新たな作業道の工法により、壊れにくく将来の搬出間伐に備えられる作業道を作設するとともに、作業員の技術レベルの向上を図る。



今までの活動状況

<平成 24 年度>

上影森橋立地内において、新たな工法による作業道の作設を実施した。

<平成 25 年度>

周辺地域の間伐作業を行い、間伐材の搬出等に今回作設した作業道を利用し、木材の搬出を行った。また、林地残材の収集と残材の林道への搬出作業にも作設した作業道を活用している。



これからの活動・行事

作設による得られた技術をもとに、今後搬出間伐等で作業道を作設する際に技術の利用等に活用していきたい。(荒川鬻川の現場で実施検討中)

上影森橋立作業道は、武甲山の登山客や周辺を歩く人々の遊歩道的な使い方がないかどうか、森林所有者と話し合いながら検討していきたい。